

指定管理者候補者の選定結果について

いくとぴあ食花4施設（新潟市食育・花育センター、新潟市動物ふれあいセンター、新潟市こども創造センター、新潟市食と花の交流センター）について、一体的に管理・運営する指定管理者を令和4年8月17日より公募しておりましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名（所在地）、所管	施設の概要
新潟市食育・花育センター （新潟市中央区清五郎401番地） 農林水産部 食と花の推進課	食と花を一体的に学ぶことができる場を提供することにより、食育及び花育を推進し、もって市民の健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む施設。 施設には、アトリウム、調理実習室、講座室、情報展示コーナー等があり、食育及び花育に関する活動の支援及び交流の促進、食育及び花育の普及及び啓発を実施している。
新潟市動物ふれあいセンター （新潟市中央区清五郎345番地1） 保健衛生部 環境衛生課	動物との触れ合いを通じて人と動物との関わりを学ぶ機会を提供することにより、動物愛護の精神を養い、これを普及させ、人と動物が共に暮らす社会の実現に寄与する施設。 施設には、ふれあい広場、ふれあいの部屋、動物飼育舎等があり、動物との触れ合いの機会の提供、動物の特性や適切な触れ合い方の情報提供及び保健所の保護動物の譲渡の推進等を実施している。
新潟市こども創造センター （新潟市中央区清五郎375番地2） こども未来部 こども政策課	子どもに創作活動及び体験活動の機会及び場を提供することにより、子どもの自ら生きる力を伸ばし、及び共に生きる力を育む施設。 施設には、陶芸・美術・工作スペース、光と音の造形スペース等があり、子どもの創作活動及び体験活動、並びにその活動を支援する者との連携及び育成等を実施している。
新潟市食と花の交流センター （新潟市中央区清五郎336番地） 農林水産部 食と花の推進課	本市が誇る食と花の魅力を市内外に発信し、多くの人にその魅力に触れる機会を提供することにより、食と花の販路の拡大及び農村と都市との間の交流を推進し、もって農林水産業の振興及び市民の豊かな生活の実現に資する施設。 施設には、展示館、見本園、直売所、レストラン等があり、食と花のプロモーション、花とみどりの展示、農村と都市との交流の推進等を実施している。
区分	公募
指定管理者申請者 評価会議	委員 村山 伸子（新潟県立大学 人間生活学部 教授） 委員 中野 節子（特定非営利活動法人 ボランティア亀田 代表理事） 委員 伊藤 充（新潟青陵大学 福祉心理学部 特任教授） 委員 本間 隆一（公益社団法人 新潟県獣医師会 新潟支部長） 委員 椎谷 照美（民間非営利組織 とらのまき 代表） 委員 間瀬 博文（公益財団法人 新潟市産業振興財団 プロジェクトマネージャー）
指定管理者 （候補者）	団体名 いくとぴあ食花運営グループ 代表団体 グリーン産業株式会社（新潟市中央区神道寺2丁目2番10号） 代表者 代表取締役 荒川 義克 構成団体 愛宕商事株式会社（新潟市中央区東堀通一番町494番地3） 代表者 代表取締役 高橋 克郎 株式会社新潟ビルサービス（新潟市中央区上大川前通9番町1268番地2） 代表者 代表取締役 鈴木 英介

指定期間 (予定)	令和5年4月1日～令和10年3月31日
選定理由	<p>指定管理者候補者の選定にあたっては、応募が1団体であったため、新潟市いくとぴあ食花及びアグリパーク指定管理者申請者評価会議において、上記応募者から提出を受けた事業計画書等の資料を基に、事業計画、事業提案、収支計画等について選定基準に基づき評価を行った。</p> <p>その後、評価会議における評価結果を参考に検討した結果、上記応募者は指定管理者としての業務遂行能力を有するとして、指定管理者候補者に選定することとした。なお、候補者選定の参考とした評価会議における評価結果は別表のとおりである。</p>
現在の 指定管理状況との 主な変更点	鳥屋野潟湖南地区他施設との連携強化、市外・県外へのプロモーションの強化、休館日・開館時間の見直しによる効率的な施設運営の検討、外部業者と連携した駐車場管理システムの更新、SDGsに関する取り組みの推進
スケジュール	<p>第1回評価会議 8月 8日 ※仕様書・選定基準・目標管理型評価項目の決定 募集要項等公表 8月17日 公募説明会 8月26日 質問受付 8月17日～9月 6日 応募受付 8月26日～9月30日 第2回評価会議 10月28日 今後、市議会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。</p>
所管部署 (問い合わせ先)	<p>農林水産部 食と花の推進課 管理庶務担当 TEL：025-226-1794 (直通) E-mail：shokuhana@city.niigata.lg.jp</p>

【参考】現指定管理期間の評価（平成30年4月～令和5年3月）

指定管理者	<p>団体名 いくとぴあ食花運営グループ 代表団体 グリーン産業株式会社 構成団体 愛宕商事株式会社 株式会社新潟ビルサービス</p>
総評	<p>令和元年度にはいくとぴあ食花全体で目標とする来場者数を上回り、過去最高となる163万人を達成した。年間を通じて、各施設が連携・協力しながらコラボ事業や交流イベントを実施するなど、多彩な事業展開が来場者の増加につながったものと思われる。</p> <p>令和2年度には新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一斉休館などの利用制限を行わざるを得ず、来場者数が減少したものの、4施設がそれぞれ様々な工夫を凝らし、事業の実施方法を見直すなどして来場者の安心・安全に配慮した対応を行った。また、コロナ禍であっても新たな事業を企画するなど運営の改善に努めたことは評価できる。</p> <p>結果として来場者の満足度は高く、各施設の設置目的や実施計画書に基づいた適切な管理運営が行われていることから、指定管理者として優良であると評価する。</p>

別表（評価結果）

選定基準	評価項目	配点	候補者
施設の平等利用の確保	事業理念・運営方針	20点	17.5点
	各事業の実施内容	60点	49.7点
	施設の管理方法	20点	16.4点
施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の縮減が図られる	本市の施策に対する理解	80点	69.7点
	事業計画の具体性・実現性	80点	66.0点
	各施設・分野の有機的連携	60点	45.9点
	独創的で魅力ある事業展開	80点	59.3点
	予算の範囲内での適正な執行及び効率的な運営の取り組み	85点	70.2点
	稼働率アップへの取り組み	80点	57.6点
	利用者ニーズの把握及び反映並びに事業改善	55点	39.3点
	要望や苦情等への対応	40点	31.5点
事業計画に沿った管理を安定して行う能力	自主事業の提案内容	60点	45.8点
	従事者の雇用・労働条件	30点	24.7点
	人材育成の取り組み	30点	25.3点
	安全確保・災害時の対応	20点	16.3点
	交通整理・雑踏対策	20点	16.0点
	事務の適正な執行	20点	17.7点
	個人情報保護・コンプライアンスの取り組み	20点	17.2点
	地元経済振興及び雇用確保の取り組み	40点	31.3点
	障がい者雇用の取り組み	10点	8.5点
	社会貢献活動の取り組み	10点	8.7点
	働きやすい職場環境づくりの取り組み	20点	15.7点
SDGsの視点を踏まえた取り組み	20点	13.3点	
その他優れた提案	40点	26.7点	
合計		1,000点	790.3点

※点数は、評価会議の委員6名の合計得点の平均